

栄東連合町内会ニュース

平成30年3月1日発行
発行 栄東連合町内会
(TEL 711-2203)

■■ 平成30年1月29日(月)～2月12日(月) ■■

～ 栄町元気プロジェクト 雪まつりウェルカム事業 ～



第69回さっぽろ雪まつり開催期間中(2月1日～12日)に「つど一む会場」を訪れる方への歓迎と、おもてなしの気持ちを伝えるため、会場では町内会、各種団体・企業・行政の皆さん延べ約140人が参加して、1月29日、30日の2日間、皆さん汗だくになりながらチェーンソーやノミ、スコップを振るい、四角い雪の塊が徐々に「ピカチュウ」と「招き猫」に変身していきました。

この事業は、子ども達の健全育成と栄東地区の魅力と活力があふれるまちづくりを目指した『栄東地区子ども未来会議』(代表：永淵宏 栄東連合町内会長。55団で構成)が主催したもの。雪像作成スタッフの中には、ひきこもりやニートなどの若者への自立支援を行う「札幌市若者支援総合センター」の利用者延べ10名にも参加してもらい、多様な団体の参加・交流と活動支援を行った。



そして、雪のひな壇には、栄東小学校3年生の児童84名が制作した表情豊かな可愛らしい雪だるまがきれいに並べられ、色とりどりの「ようこそ雪まつりへ」と書かれたメッセージカードがかけられました。

また、両日とも、連合町内会女性部が、つど一むの厨房でカレーライスと豚汁を作り、雪像制作メンバーの冷えた体を温めてくれました。

今年で第10回目となる「栄東ウェルカム雪像」は、国内外から訪れた66万9千人の観光客を出迎え、会場で1番人気の撮影スポットになりました。



また、2月1日～12日までの12日間、地下鉄栄町駅では、「歓迎 ようこそ栄町へ」と書かれた横断幕を広げて来場者を歓迎し、会場へ向かうシャトルバスの案内などを行いました。

■■ 平成30年2月17日（土） ■■

～ 栄東地区 雪中こども雪フェスタ 2018 ～



栄東地区青少年育成委員会（会長：山田豊）が主催する「こども雪フェスタ」がひのまる公園で開催され、子ども、保護者、スタッフ総勢120名が参加しました。

この日は、朝から猛吹雪の悪天候でしたが、10時に雪フェスタの開会式が始まると嘘のように晴れ渡り、すっかり雪中運動会日和となりました。

山田会長の開会挨拶でイベントがスタート。
栄東連合町内会の永淵会長から「元気で安全に楽しんでください。」と挨拶を頂いた後、子どもたちは、「ラジオ体操」で体をほぐし、ボランティアで参加した東海大学の学生と一緒に、全力で「雪中サッカー」や「雪上綱引き」に参加し大興奮！



歓声を上げながら公園内を元気一杯に走り回った後、20チームに分かれてミニ雪像作成に着手。地域の方が審査員となってミニ雪像コンクールを実施しました。

グラウンドで雪上競技を楽しむ一方で、小さな子どもたちは、青少年育成委員や民生委員・児童委員など地域の方々が主体となり、バケツやスコップを使った「雪あそび」や「顔出しパネル」、「まと当て」などを楽しみ

ました。また、大学生等と一緒に「そり遊び」、児童会館が作成した「ビニールの凧揚げ」などを体験し、雪と親しむ楽しい一日を満喫しました。

